業種	航空(小型固定翼・回転翼事業)
取組分野	事故体験共有データベースの活用
テーマ	過去の重大事象の教訓から事故の発生リスクを下げる取組
取組の狙い	社員がいつでも過去の事故や重大事象等をまとめた資料を見ることがで
	きる環境を整備することにより、記憶の風化を防止し、得られた教訓か
	らの学びや気づきにより事故発生のリスクを下げることを目的とする。
具体的内容	朝日航洋株式会社では、過去に発生したあらゆる事故や重大事象等(約
	160 件)をデータベースにとりまとめた。このデータベースは一覧表で
	まとめられ、一覧表に記載された事象一つ一つにリンクが張られており、
	これを押すとその事象の詳細が表示される
	このように過去の事故・重大事象等の全体像が俯瞰的に見られるのに
	加え、各事象の詳細内容についても個別に見られるようになっている。
	同社では、以下の機会にデータベースを利用することにより、「リマイ
	ンド(忘れてはならない事象)」として思い起こしを行い、風化させない
	ようにしている。
	① 新入社員・キャリア入社社員教育の一環として、過去に発生した事
	故に関する教育「事故レビュー」の実施
	② 会社が主催する安全大会や各職場単位で実施される安全会議など
	の場での活用
	③ 社内イントラネットに掲載し、社員であればいつでも見られる環
	境の提供
	1
	<データベース画面> <安全大会での紹介風景>
取組の効果	現場では、社内イントラを利用して容易に活用できることが好評であ
	るほか、新入社員・キャリア入社社員教育のアンケート結果からも社員
	の事故を防ぐ決意や安全に対する強い思いが確認できており、記憶の風
	化の防止に役立っていると考えられる。
	また、新入社員のアンケート結果は、配属先の上司にも共有している
	ため、それぞれの新入社員が関心を持っている「安全」を主題に、上司
	と部下の間でコミュニケーションが行えるようになっている。
	今後も、当該データベースを継続的に活用することにより、社員の利
	活用拡大や、新たな未然防止策の発掘のヒントとなるなどの更なる効果
- La Nile - La C	が期待できると考える。
事業者名	朝日航洋株式会社